（様式１）

県立鉾田第二高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和７年度）

総合的な探究の時間の第１の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

１　「農業科」、「食品技術科」、「総合学科」の特色を生かし、生徒一人一人の能力を引き出し、個性の伸長を図る教育を行う。
２　生徒一人一人の基本的生活習慣を確立し、自信のある行動をとれる人材を育成する。
３　生徒一人一人の進路希望に応じた指導体制を確立し、生徒全員の進路実現を目指す。
４　地域と連携して地域社会の信頼に立脚し、将来にわたり学校を充実・発展させる。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

自ら課題を設定し、探究の過程で身につけたことを説明・記録する活動を通して、自らのライフプランを考え、行動に移すことができるようになる。さらに地域の課題、世界の課題を探究することで、未来を創る一人であることを認識し、主体的に活動できるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

(1)情報を収集する能力
(2)他者との対話を通して養う自らの思考力、判断力、表現力
(3)他者理解を深め他者と協働する力

総合的な探究の時間の学習評価

・自ら課題を見つけ、解決する能力と姿勢が身に付く。
・探究の過程や結果を他者に伝える能力と姿勢が身に付く。
　これらを探究日誌や発表を通して評価する。あわせて授業中の取り組みの様子も評価する。
　各学年・年次及び教務部より委員を選出し、全体把握を行う。
　授業担当者間で、評価や指導方法に偏りが出ないよう十分な打ち合わせを随時行う。

生徒の実態

・目的意識をしっかり持ち、努力を重ねる生徒の存在。
・さまざまな体験等を通して変化がみられる生徒の存在。
・学び方を知らない生徒の存在。
・自己肯定感を感じられない生徒の存在。
・他者とのかかわりが上手くできず、悩みを抱えている生徒の存在。

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

教育相談部及びスクールカウンセラーと連携を取りながら、個に応じた指導を行う。
学年・教科とも情報共有を行い、個に応じた指導を行う。

目指す生徒の姿

・自己をコントロールし、努力をいとわない能力と姿勢を身に付けた生徒。
・自信をもって行動することができる能力と姿勢を身に付けた生徒。
・自ら課題を見つけ、解決する能力と姿勢を身に付けた生徒。
・生きる喜びが実感している生徒。
・他者をいたわり、思いやる姿勢を身に付けた生徒。

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 学年・年次

自己を知り、他者を知り、世界の課題を知る

(1) 知識及び技能…与えられた課題に関連した情報を収集する。
(2) 思考力、判断力、表現力…自らの意見と他者の意見の違いを認め、最適解を求める。
(3) 学びに向かう力、人間性等…探究の仕方、思いやりの心を身に付ける。

2 学年・年次

仲間と協力し、持続可能な未来を考える

(1) 知識及び技能…地域や世界の課題を知る。
(2) 思考力、判断力、表現力…他者に思いをきちんと伝える。
(3) 学びに向かう力、人間性等…努力をいとわない能力と姿勢を身に付ける。

3 学年・年次

未来を主体的に構築する力を身につける

(1) 知識及び技能…設定した課題に対する知識及び技能を自ら身に付ける。
(2) 思考力、判断力、表現力…限られた時間・内容で的確に表現する。
(3) 学びに向かう力、人間性等…諸課題を主体的に解決する力を身に付ける。

学習活動、指導方法等

・学習活動
　1 学年・年次
　　クラスごとのグループワークを基本とする。
　2～3 学年・年次
　　テーマごとにグループを編成し、活動することを基本とする。
・指導方法
　全学年・年次
　　指導者は指導・助言を与えることを主とする。
　1 学年・年次
　　副担任が担当する。
　2～3 学年・年次
　　学年・年次関係職員全員で担当する。
・使用教材
　1 学年・年次
　　県教委発行「ともに歩む」
　　(株)NOLTY プランナーズ発行「探究ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」
　2 学年・年次
　　(株)NOLTY プランナーズ発行「探究ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」
　3 学年・年次
　　スタディサプリ・教員作成ワークシート

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

総探委員会（8 名）･･･適宜内容や評価等の改善に取り組む。授業の進捗状況の確認をする。
学年・年次担当各 1 名、教務部 2 名、進路指導部 1 名、教頭 2 名
学年・年次会議（毎週開催）･･･指導方法や評価観点、進捗状況について適宜情報を共有する。
新任者研修（年度初め）･･･新規採用者、転入者対象の研修を実施し、本校の目標や育てようとする資質・能力及び総合的な探究の時間の在り方・進め方について理解する。
探究結果の公表（年度末）･･･ポスターセッション等を行い、家庭や地域にも公開する。